

共有経済:「より多くの我々、共有、より我々がある」



本質的には資産を雇用、経済を共有/製品。しかし共有資産/製品は時代の古い概念が技術の革命、そのビジネスモデルを変えた。以前共有のスコープは、特定の場所に限られていた。今日、デジタルの存在は、潜在的なユーザーおよび所有者との接続と同様に、リアルタイムの情報を得ることが可能に。

経済を共有は、インドで急速に現れています。このモデルは世帯の項目、車、おもてなし、物流、食品および飲料の他のような様々なセグメントで正常に機能しています。これは所有者未利用資産からお金を稼ぐに役立ちます。

EY 文書に従って共有経済モデル、所有者とユーザーの両方の勝つアプローチです。 経済を共有の利点は以下のとおりです。

消費者		アグリゲーター/マーケットプレイス	サプライヤー
利点	<ul style="list-style-type: none"> ▪ オンデマンドサービス ▪ 利便性 ▪ 低価格 ▪ 経験の共有 ▪ パーソナライズされた/カスタマイズした製品/サービス ▪ 複数のオプションの選択 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 効率性の向上 ▪ ブランド構築 ▪ 良い仕入先価格 ▪ 低資本強度 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 広い市場のための高められたビジネスに到達します。 ▪ デジタルリテラシー ▪ 社会移動 ▪ スキル開発 ▪ ブランド構築
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 信頼と安全性の基準 ▪ 一貫したサービスの経験 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ オペレーションの合理化 ▪ 規制に関する考察 ▪ 型破りな労働力の管理 ▪ 一貫したサービス品質を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 保険と資産のセキュリティ ▪ インフラの課題 ▪ 一貫性のある品質サービス経験

中国では、人々

は自転車、ドレス、傘のような製品を雇う、ファッションの付属品の他に旗コードをスキャンできます。

スウェーデンなど他の国では、オーストラリア、フランス、アメリカ合衆国

このモデルは高価な製品動作します。LLC は CNBC

によると。日本の経済を共有のサイズは推定 1 兆 2000 億です。

この共同フォームは、使用率の低い製品の消費量を増加します。信頼と社会的包摂を開発することができます。

共有モデルは、気候変動のバランスをとるために必要な二酸化炭素排出量を減らすに重要な役割を果たしています。

